

週間漁海況情報 2021年第42号

令和3年10月26日発行

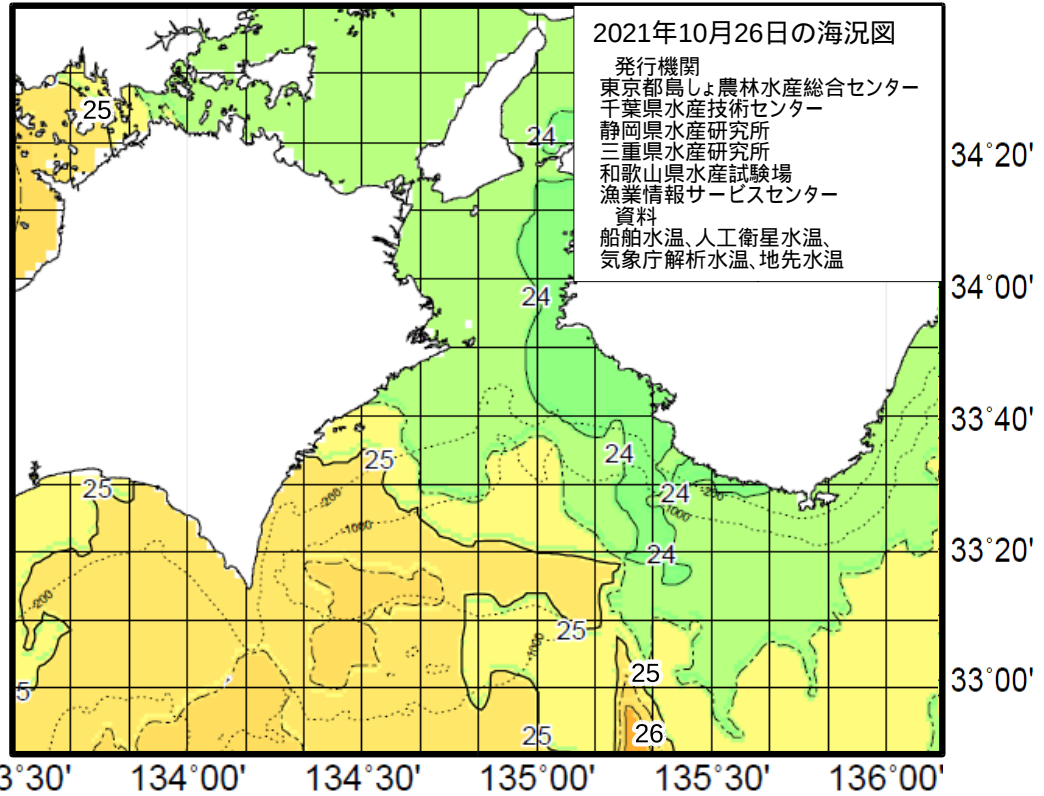
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖41マイル、潮岬沖138マイルを流れ、室戸岬沖は「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は弱まり、内海水が南下している。黒潮の表面水温は25,26 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道が24 台、海部沿岸が24,25 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

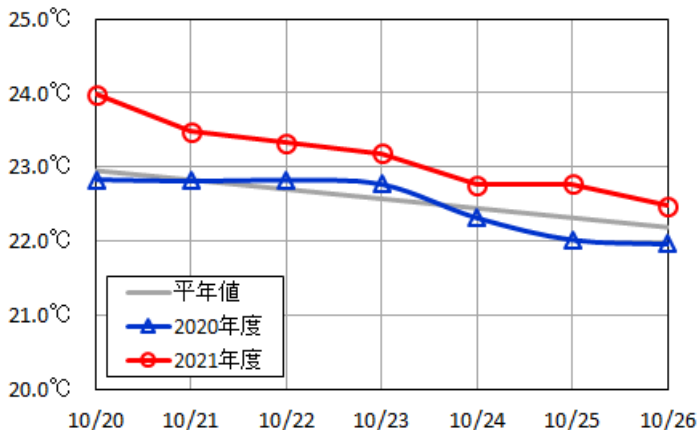
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

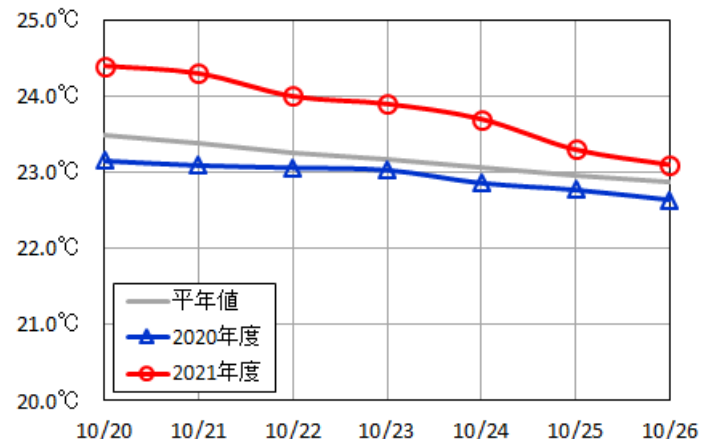
2. 地先水温 (10月20日 ~ 10月26日)

鳴門地区の水温は24.0 ~ 22.5、日和佐地区は24.4 ~ 23.1、でいずれも「やや高め」から「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は0.4 ~ 0.9 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上

平年値 1984年 ~ 2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (10月27日 ~ 11月2日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門、日和佐地区ともに「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (10月18日～10月24日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って83.8ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが減って大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、カンパチが増えて1.5ト、ブリが増えてめじろ級主体に1ト、マアジが大きく増えて豆アジ主体に0.3ト、クロサバフグが0.3ト、ヘダイが大きく増えて0.2ト水揚げされた。
 底びき網では、タチウオが大きく増えて4ト、クロサバフグが増えて1.6ト、かます類が大きく増えて0.2ト、イボダイが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく減って特大主体に1.7ト、シイラが増えて0.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが減って豆アジ主体に1.6ト、メアジが増えて0.5ト、マルソウダが大きく増えて0.4ト、かます類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比	
紀伊水道	船びき網	67	シラス	83,750	1,250			
	建網	24	カワハギ	255	11	大主体		
	小型定置網		14	カンパチ	1,535	110		
			15	ブリ	1,006	67	めじろ級主体	
			14	マアジ	336	24	豆アジ主体	
			11	クロサバフグ	257	23		→
			13	ヘダイ	240	18		
	底びき網		18	タチウオ	3,957	220		
			21	クロサバフグ	1,576	75		
			21	かます類	235	11		
		19	イボダイ	234	12	大主体		
海部沿岸	釣り	3	カツオ	1,714	571	特大主体		
		3	シイラ	370	123			
	小型定置網	21	マアジ	1,636	78	豆アジ主体		
		18	メアジ	474	26			
		16	マルソウダ	409	26			
	15	かます類	275	18				

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: